

# 2017年3月期決算説明会

---

---

2017年6月14日



三光産業株式会社  
SANKO SANGYO CO.,LTD.

(証券コード:7922)

# 目次



---

|                  |      |
|------------------|------|
| 会社概要             | p.3  |
| 前期(2017年3月期)決算概況 | p.8  |
| 今後の事業展開          | p.15 |
| 補足資料             | p.29 |

# 会社概要

# 主な製品



タッチパネル関連製品に成長ドライバーをシフト

## シール・ラベル印刷関係

ロゴパッチ

Sanko Sanyo

インジケータパネル

定格ラベル

性能表示ラベル



電池シール



## タッチパネル関連製品

※加飾トップパネルの「印刷段差吸収技術」において、特許を取得

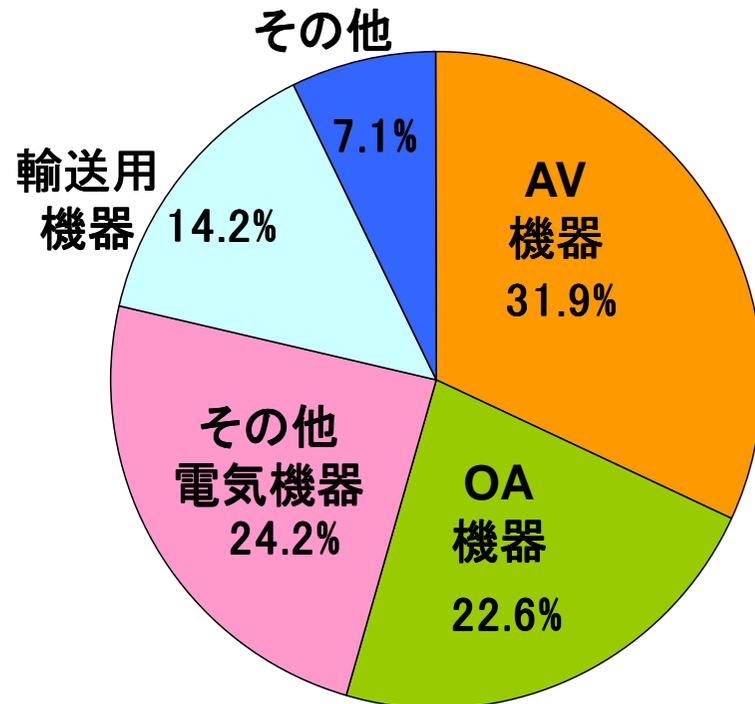


# 売上構成

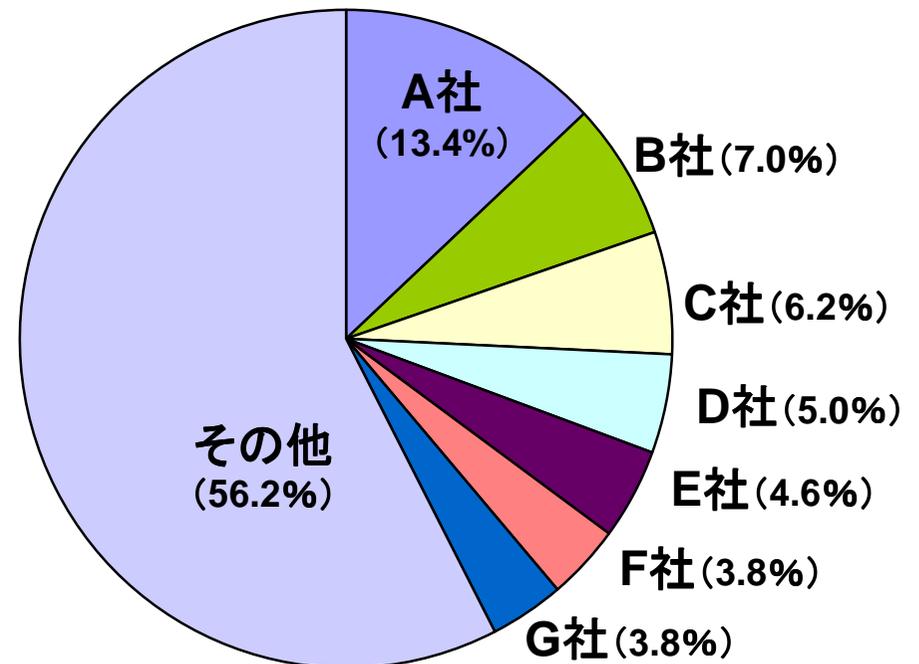


2017/03期

業種別売上構成(連結)



顧客別売上構成(単独)



イクヨ シャープ ジャパンディスプレイ 翔栄 ソニー 長瀬産業  
パナソニック 富士ゼロックス ホシデンエフ・ディ 三菱電機等  
約1000社(敬称略) (五十音順)

# 事業拠点



## 国内拠点



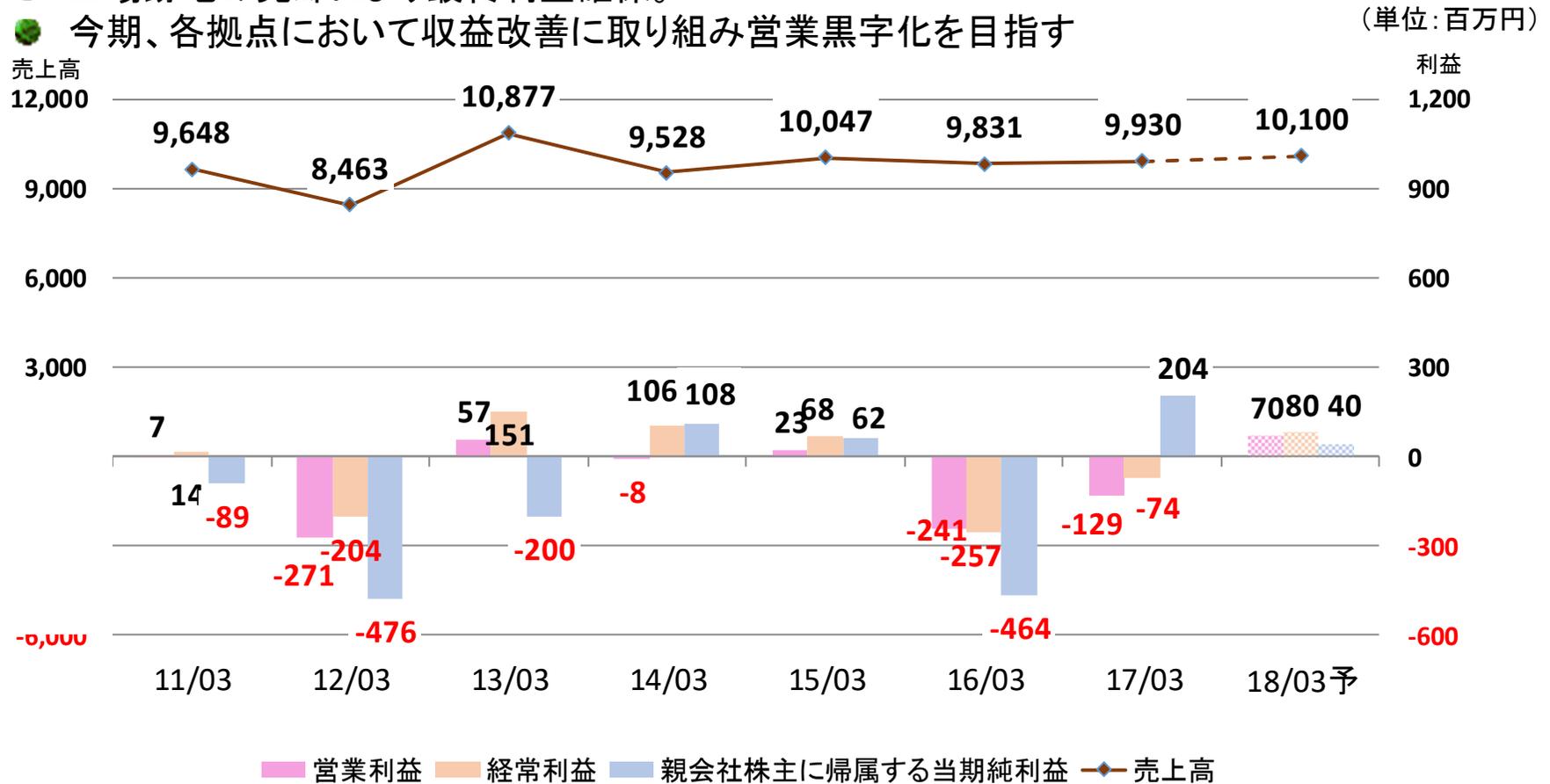
## 海外拠点



# 業績推移



- 緩やかながらも売上高・利益ともに回復傾向にあったが、中国等海外子会社の業績悪化により 前々期は赤字。前期は回復しつつも黒字転換できず、営業利益は2連続赤字。
- 工場跡地の売却により最終利益確保。
- 今期、各拠点において収益改善に取り組み営業黒字化を目指す



# 前期(2017年3月期)決算概況

# 決算概要



単位:百万円, %

|                     | 16/03期 |       | 17/03期 |       |       |
|---------------------|--------|-------|--------|-------|-------|
|                     | 金額     | 構成比   | 金額     | 伸長率   | 構成比   |
| 売上高                 | 9,831  | 100.0 | 9,930  | 1.0   | 100.0 |
| AV機器                | 3,394  | 34.5  | 3,162  | ▲6.8  | 31.9  |
| OA機器                | 2,028  | 20.6  | 2,245  | 10.7  | 22.6  |
| その他電気機器関連           | 2,702  | 27.5  | 2,405  | ▲11.0 | 24.2  |
| 輸送用機器関連             | 1,055  | 10.7  | 1,407  | 33.4  | 14.2  |
| その他                 | 650    | 6.7   | 708    | 8.9   | 7.1   |
| 売上総利益               | 1,607  | 16.4  | 1,737  | 8.1   | 17.5  |
| 営業利益                | ▲241   | ▲2.5  | ▲129   | —     | ▲1.3  |
| 経常利益                | ▲257   | ▲2.6  | ▲74    | —     | ▲0.7  |
| 親会社株主に帰属する<br>当期純利益 | ▲464   | ▲4.7  | 204    | —     | 2.1   |

# 前期決算のトピックス

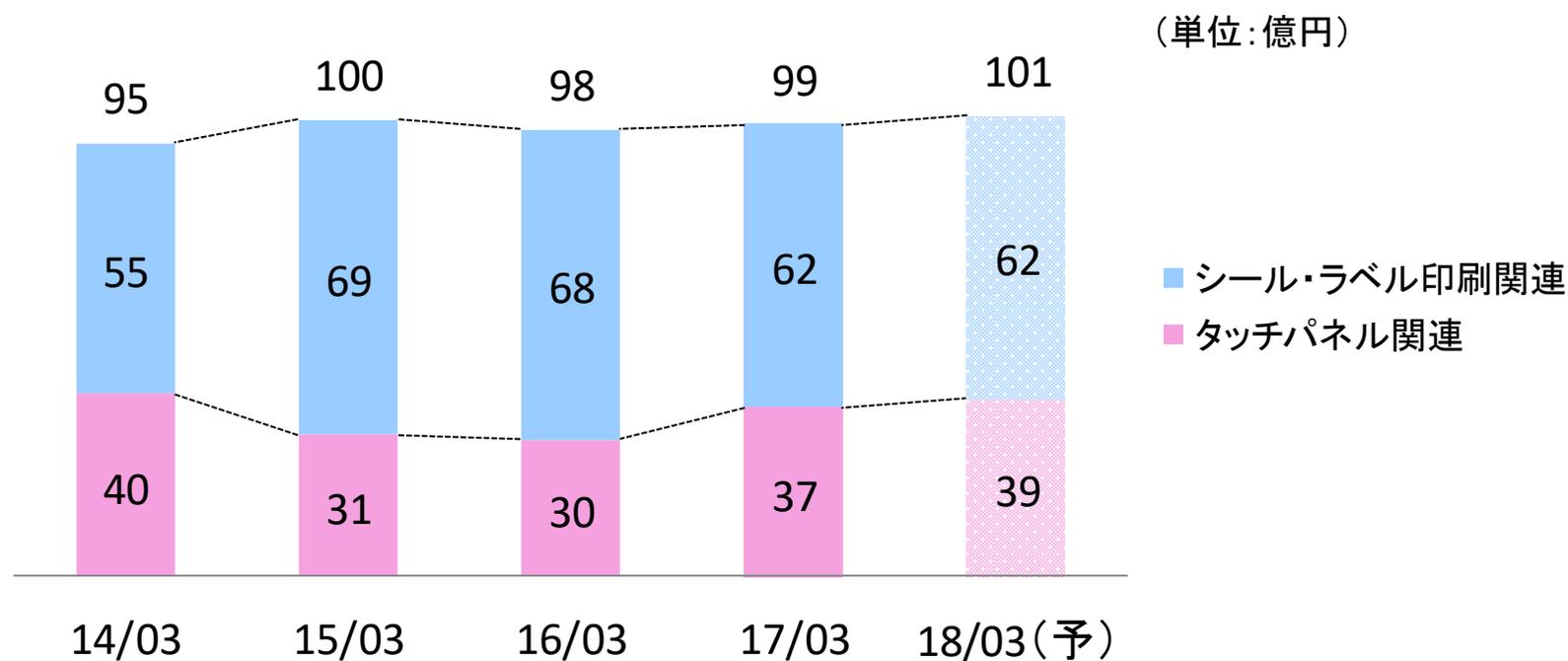


|                    |     |  |
|--------------------|-----|--|
| 17/03実績<br>(増収・増益) | 売上高 | <ul style="list-style-type: none"><li>● 前期比微増</li><li>● シール・ラベル製品売上は減少</li><li>● TP関連製品に関しては中国が売上減になるも、日本での盛り返しにより大幅に増加</li></ul>  |
|                    | 利益  | <ul style="list-style-type: none"><li>● 粗利率は改善したものの販管費を吸収しきれず営業損失計上</li><li>● 経常損失については前々期6,000万円の為替差損が為替差益に転じた事により大幅に改善</li><li>● 工場跡地の売却として3億5,500万円を計上したことにより、当期純利益2億400万円を計上</li></ul> |

# 既存・新規事業の売上高



## シール・ラベル印刷関連製品(既存事業)と タッチパネル関連製品(新規事業)の売上高推移



# 拠点別収益



## 日本

|         | 16/03 | 17/03 |
|---------|-------|-------|
| 売上高     | 6,096 | 7,147 |
| セグメント利益 | 40    | ▲35   |

- 前期(2017年3月期)は増収
- 製品売上構成の変化及びタッチパネル関連加飾部品の想定歩留率の未達並びに販管費の増加により減益

## 中国

|         | 16/03 | 17/03 |
|---------|-------|-------|
| 売上高     | 3,274 | 2,287 |
| セグメント利益 | ▲199  | ▲41   |

- 上期の受注減を回復できず、売上減少
- 生産効率の向上、経費削減により、損失を大幅に減少

## アセアン

|         | 16/03 | 17/03 |
|---------|-------|-------|
| 売上高     | 459   | 494   |
| セグメント利益 | ▲94   | ▲64   |

- マレーシア現法は業績改善が進み営業利益計上するも、バンコク現法の本格稼働の遅れによりアセアンセグメントは赤字
- 今期は、マレーシア現法の黒字拡大を想定、バンコクの本格稼働により赤字を大幅に圧縮

# 貸借対照表



|             | 16/03 期末  | 17/03 期末  | 増減     |
|-------------|-----------|-----------|--------|
| 流動資産        | (6, 588)  | (7, 539)  | (950)  |
| 現金及び預金      | 2, 632    | 3, 077    | 444    |
| 売上債権        | 2, 981    | 3, 619    | 638    |
| 棚卸資産        | 664       | 753       | 89     |
| その他流動資産     | 309       | 88        | ▲221   |
| 固定資産        | (4, 249)  | (3, 904)  | (▲344) |
| 資産合計        | (10, 837) | (11, 443) | (606)  |
| 流動負債        | (2, 116)  | (2, 506)  | (389)  |
| 買入債務        | 1, 718    | 2, 076    | 357    |
| その他流動負債     | 398       | 429       | 31     |
| 固定負債        | (362)     | (401)     | (38)   |
| 退職給付に係わる債務  | 285       | 267       | ▲18    |
| その他固定負債     | 76        | 134       | 57     |
| 負債合計        | (2, 478)  | (2, 907)  | (428)  |
| 株主資本        | (7, 959)  | (8, 120)  | (161)  |
| その他の包括利益累計額 | (253)     | (280)     | (27)   |
| 非支配株主持分     | 145       | 135       | ▲10    |
| 純資産合計       | 8, 358    | 8, 536    | 177    |
| 負債純資産合計     | (10, 837) | (11, 443) | (606)  |

単位:百万円

# キャッシュ・フロー



|                     | 16/03 期末 | 17/03 期末 | 増減    |
|---------------------|----------|----------|-------|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー    | 237      | ▲254     | ▲492  |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー    | ▲787     | 796      | 1,583 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー    | ▲46      | ▲47      | ▲0    |
| 現金及び現金同等物に係る換算差額    | ▲52      | ▲48      | 3     |
| 現金及び現金同等物の増減額(▲は減少) | ▲648     | 445      | 1,093 |
| 現金及び現金同等物の期首残高      | 3,263    | 2,615    | ▲648  |
| 現金及び現金同等物の期末残高      | 2,615    | 3,061    | 445   |

単位:百万円

## 【主な内訳】

|                  | (16/03期末) | (17/03期末) | 増減   |
|------------------|-----------|-----------|------|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー |           |           |      |
| 税金等調整前当期純利益又は純損失 | ▲459      | 176       | 636  |
| 減価償却費            | 274       | 147       | ▲126 |
| 減損損失             | 201       | 103       | ▲98  |
| 売上債権の減少額(▲増加額)   | 243       | ▲685      | ▲928 |
| 棚卸資産の減少額(▲増加額)   | 248       | ▲108      | ▲357 |
| 仕入債務の増加額(▲減少額)   | ▲197      | 409       | 607  |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー |           |           |      |
| 有形固定資産の取得による支出   | ▲788      | ▲150      | 637  |
| 有形固定資産の売却による収入   | 0         | 809       | 808  |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー |           |           |      |
| 親会社による配当金の支払額    | ▲43       | ▲43       | ▲0   |

# 今後の事業展開

# 当社グループの主な扱い品目



|             |                  |  |
|-------------|------------------|--|
| タッチパネル関連事業  | 主に日本・中国子会社で展開    | <ul style="list-style-type: none"><li>● スマートフォン(加飾 ガラス・樹脂・フィルム 部品、OCAテープ等)TP関連売上の約30%</li><li>● カメラ(加飾カバーガラス、加飾樹脂パネル、OCAテープ等)TP関連売上の約30%</li><li>● 車載(加飾カバーガラス、加飾樹脂パネル、OCAテープ等)TP関連売上の約30%</li><li>● その他<br/>ゲーム機、タブレット端末、産業用(加飾カバーガラス、加飾樹脂パネル、OCAテープ等)TP関連売上の約10%</li></ul> |
| シール・ラベル関連事業 | 日本・アセアン・中国子会社で展開 | <ul style="list-style-type: none"><li>● AV・OA機器等の家電機器関連・・・ シール・ラベル売上の約75%</li><li>● 車載等の輸送機器関連…………… シール・ラベル売上の約15%</li><li>● その他(食品、物流等)…………… シール・ラベル売上の約10%</li></ul>   |

# 事業環境



## タッチパネル関連事業

主に日本・中国子会社で展開

- 2017年度のTP市場は引き続きスマホ向け需要を中心に成長を続けるも、TP市場全体としては、成長は鈍化する見込み。
- スマートフォン市場
  - ローエンド・モデル⇒中国メーカー等の供給業者が多すぎるレッド・オーシャン市場⇒価格競争の激化
  - ハイエンド・モデル⇒曲面成型等の高付加価値製品が伸長見込み⇒高い技術力が必要
- カメラ市場 ⇒デジカメからスマホへの代替により需要減少傾向
- 車載市場 ⇒今後の成長分野だが、厳しい製品品質基準

## シール・ラベル関連事業

日本・アセアン・中国子会社で展開

- 国内家電メーカーの海外生産移管の動きは変わらず、シール・ラベルの国内需要は緩やかだが減少が続いている。
- 中国市場においては、ローカルとの価格競争等、受注環境は非常に厳しい状態が続いている。
- アセアン地域は、家電、輸送機器関連メーカーの進出によりシール・ラベル需要に期待。

# 経営課題



## タッチパネル関連事業

主に日本・中国子会社で展開

- 受注の拡大と受注の安定化⇒  
中心の1つであるスマホ市場は製品ライフサイクルも短く、受注が不安定なためこれに代わる安定受注品目の確保が課題。
- 収益性の改善⇒  
案件毎に異なる高度な技術・技能が必要とされ、歩留まりの改善等製造面の強化も課題。
- 車載用TP、産業用TP等、今後の成長分野への技術対応⇒  
人材の確保と外注先の発掘

## シール・ラベル関連事業

日本・アセアン・中国子会社で展開

- 国内事業においては、一昨年固定費削減のため生産体制の再編を実施し、シール3工場を長野工場に集約。今後は受注の安定的確保を目指す。
- 中国においては、価格競争等により収益性の改善に課題。
- 今後重要性を増すアセアン市場での営業力強化と生産体制の改善が課題。

# 課題に対する対処方針(中期展開)



タッチパネル関連事業

- 扱品目の拡大による受注増と受注の安定化  
⇒産業用、医療用、ウェアブル向けTP関連の受注活動の強化
- 生産効率改善による収益性のアップ
  - 当社から提携先加工メーカーへの技術指導により歩留率改善
- 新技術に対応するための対応
  - 技術系を中心とした人材の確保
  - 外注先の確保
    - 中・小パネル……中国加工メーカー
    - 大型パネル……日本国内の加工メーカー

との太いパイプ構築

多様なビジネスチャンスの追求

シール・ラベル関連事業

- 国内生産体制の効率化の推進
- 今後伸長が期待できるアセアン地域の事業展開を強化
- 国内新市場の開拓強化

限定的だが成長機会を探る

# 今期の重点施策



## タッチパネル関連事業

- 組織の見直しによる国内外での拡販強化
- 歩留まり率の改善
- 人材の補充

## シール・ラベル関連事業

- 関東地区の生産拠点生産品の受注活動の強化
- マレーシア・バンコク子会社と国内営業・製造部門との連携強化による受注拡大と生産効率の改善
- 新技術、新製品の開発と国内新市場の開拓

# TP関連事業 今期の重点施策



- 組織の見直しによる国内外での拡販強化

4月～本社営業部にグローバル営業部を新設



TP関連を中心とした国内及びアセアン、中国展開に注力

- 歩留まり率の向上

- 品質面への未然防止対応

試作段階でのリスクの洗出しとそれに対する技術面、品質面の対応により、歩留の向上

- リスクに応じた価格設定

- 人材の補充

上記に対応するための技術系社員の確保

# シール・ラベル関連事業① 今期の重点施策



## ● 関東地区の生産拠点生産品の受注活動の強化

### ■ 統合後の長野工場生産品の受注活動の強化

月額生産目標 4,500～5,000万円に対し、平成29年3月期  
4,300万円の実績

### ■ 川越工場の新鋭機生産品の受注活動の強化

月額生産目標 4,000～4,500万円に対し、平成29年3月期  
3,740万円の実績

組織の見直しにより、国内営業部と国内製造工場との製販一体  
体制で、上記目標に再チャレンジ

## ● マレーシア・バンコク子会社と国内営業・製造部門との連携強化による受注拡大と生産性の改善

### ■ バンコク子会社の受注拡大とマレーシア子会社の生産効率の更なる改善

⇒このため、本社営業部に新設したグローバル営業部及び  
国内製造部門による支援強化

# シール・ラベル関連事業②



## ● 新技術・新製品の開発と国内新市場の開拓

### ■ 食品関連、住設機器関連ラベルの受注活動の強化

- ・ケーキピック等新たな食品ラベルの受注活動を展開し、現在、試作段階までこぎつけた。  
⇒量産化が実現すれば、長野工場の目標不足額の補填に大きく寄与
- ・熱転写プリンター(ハイブリッド・プリンター)による住設関連、アミューズメント関連需要の開拓

### ■ 化成品関連の拡大

- ・PC機器等の緩衝材、電磁波シールド材等の化成品需要を従来の顧客ネットワークを中心に開拓。

住設製品



化成品製品



# 中期数值目標



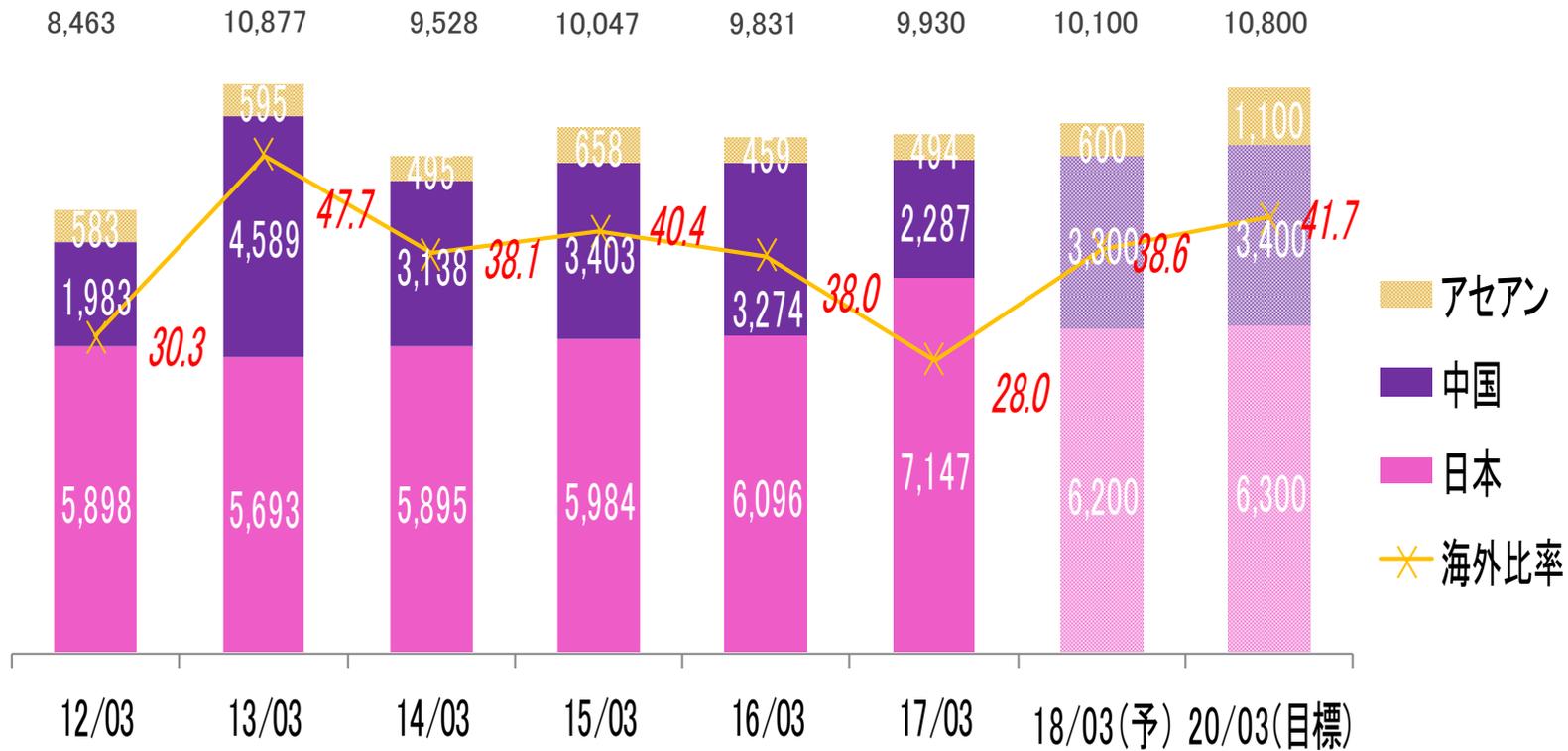
※ 昨年の中期数值目標を見直し、下方修正

# 海外展開の現状と今後の目標



地域別売上高推移

(百万円, %)



# 株主還元・資本政策について



## 配当について

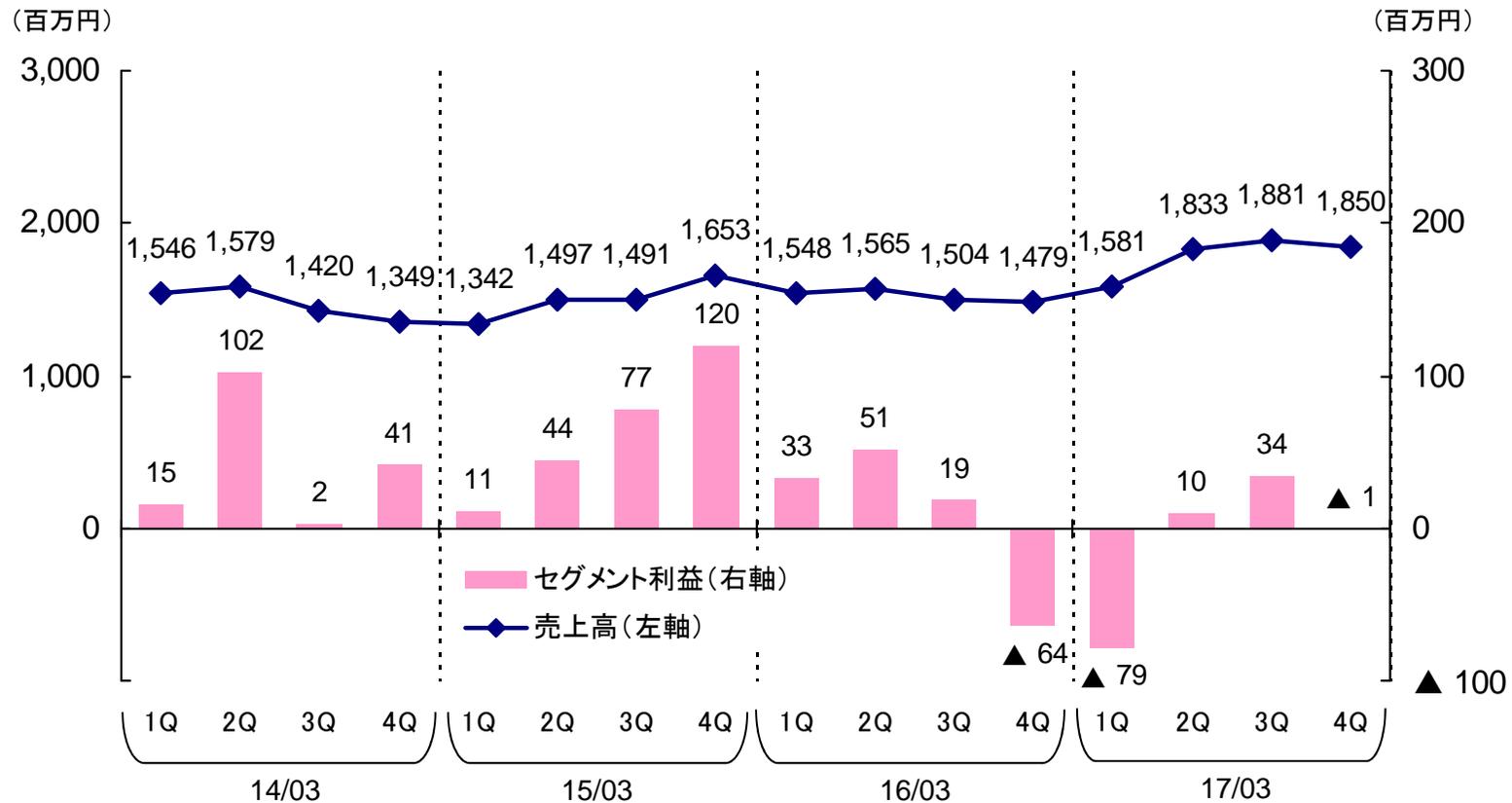
|          |     |                                 |
|----------|-----|---------------------------------|
| 08/03期実績 | 13円 | (13円の安定配当を継続)                   |
| 09/03期実績 | 7円  | (最終損失にともない減配)                   |
| 10/03期実績 | 10円 | (当初予定 普通配13円 ⇒ 普通配7円、50周年記念配3円) |
| 11/03期実績 | 7円  | } 収益状況・財政状態等を考慮し、7円配を継続(予定)     |
| 12/03期実績 | 7円  |                                 |
| 13/03期実績 | 7円  |                                 |
| 14/03期実績 | 7円  |                                 |
| 15/03期実績 | 7円  |                                 |
| 16/03期実績 | 7円  |                                 |
| 17/03期見込 | 7円  |                                 |
| 18/03期予想 | 7円  |                                 |

補足資料

# 日本セグメント四半期業績推移



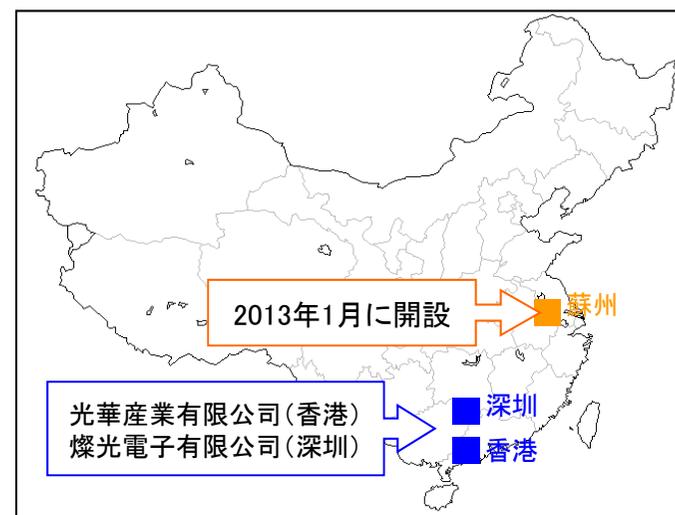
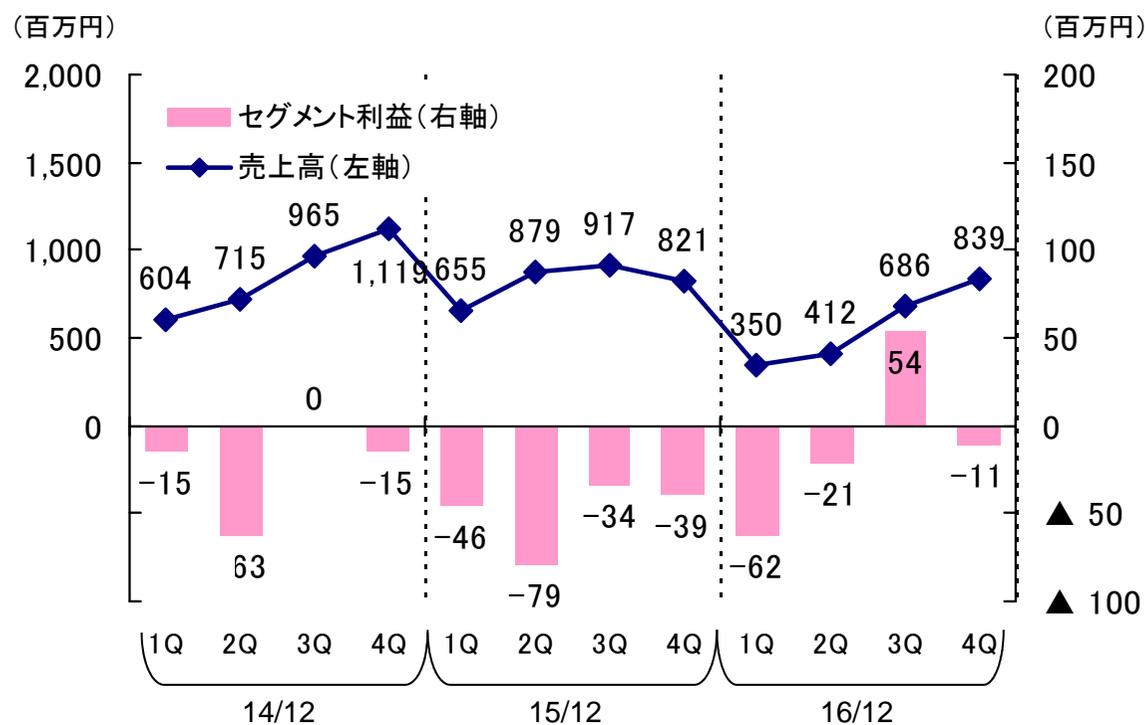
日本セグメント 四半期売上高・経常利益の推移



# 中国・光華産業の四半期業績推移



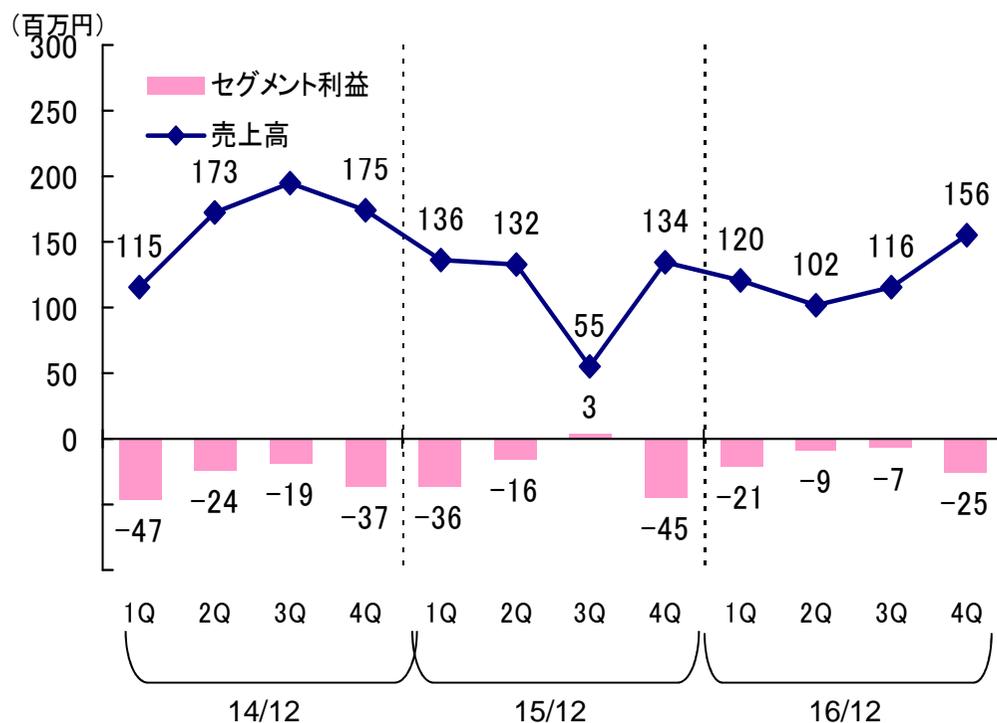
中国地域 四半期売上高・経常利益の推移



# アセアン地域の四半期業績推移



アセアン地域 四半期売上高・経常利益の推移



本資料に掲載されている三光産業株式会社の現在の計画、見通し、戦略、確信等のうち、歴史的事実でないものは、将来の業績に関する見通しであり、リスクや不確実な要因を含んでおります。

これらの情報は、現在入手可能な情報から三光産業株式会社の経営者の判断に基づいて作成されております。

実際の業績は、さまざまな重要な要素により、業績見通しとは大きく異なる結果となりうるため、業績見通しのみで全面的に依拠することは控えるようお願い致します。

また、本資料は、投資勧誘を目的としたものではありません。投資に関する決定は、利用者ご自身のご判断において行われるようお願い申し上げます。

## IRお問合せ

取締役経理担当

高橋 光弘

TEL: 03-3403-8134

E-mail: m-takahashi@sankosangyo.co.jp